

そよかせ



瀬戸内海の日の出

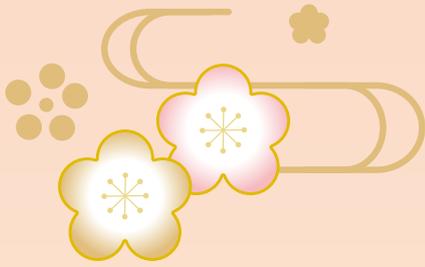
CONTENTS

新年のご挨拶	2
第77回 国立病院総合医学会に参加しました	3
令和5年度 岡山県結核診療連携拠点病院研修会開催	3
つくし園 開園20周年記念行事	4
つくし病棟 院外行事	5
南岡山医療センターの感染対策室での取り組み	6
2023年 早島町生涯学習まつり	6
「いきいき広場」に参加して	
職場紹介「治験管理室」	7
栄養管理室 免疫力アップ	8・9
感染症に負けない体づくり鍋	
外来診療担当医師一覧表	10

病院の理念

私たちは
「ゆるぎない信頼、心からの満足」
をしていただける病院を目指します。

人としての尊厳を重視した上で
専門医療（国の定める政策医療）に誇りを持ち、
地域の皆様が安心して心身ともに癒される医療を
受けていただけるよう、全力を尽くします。



新年のご挨拶

院長 谷本 安



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

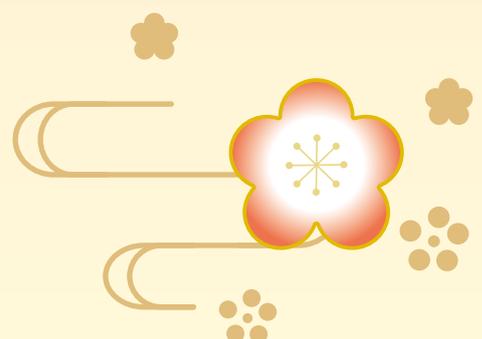
令和6年を迎えるにあたり、当院の運営につきましては平素より皆様のご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年5月8日から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）も5類に移行し、さまざまな臨時的措置が縮小や廃止になり、医療費の公費負担も段階的に縮小されています。当院も5類移行と同時にCOVID-19病床を元の結核病床に戻し、COVID-19の入院診療は一般病床（陰圧個室）で行っており、感染状況を注視しながら、段階的に面会等の制限を緩和しているところです。メディアに取り上げられることも少なくなりましたが、岡山県内のCOVID-19入院患者数は昨年の8月後半には400名を超え、その後減少しましたが、11月以降も80名程度の横ばいで推移し、定点患者報告数は11月後半から増加しているようです。12月1日に岡山県下に警報が発令されたインフルエンザと合わせて、人の大きな移動のある年末年始に感染が拡大し、1年前と同様に救急搬送困難者が増加し、COVID-19入院病床が逼迫することを危惧しています。

昨年の流行語大賞（年間大賞）は「アレ（A.R.E.）」でした。「生成AI」等の流行語を押しつけて、令和3年の「リアル二刀流／ショートタイム」、令和4年の「村神様」に続いて野球に関連した流行語が3年連続の年間大賞を取りました。38年ぶりに日本一を達成した阪神タイガースの岡田監督のコメントによると、「アレ」というのはプレッシャーのかからない言葉であると同時に、「コレ」と違って簡単には手が届かないが“もう少し”で優勝できるという思いが加味されていたとのこと。

当院は昨年11月に日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審しました。平成25年の病棟建替えや電子カルテ導入、その後の経営悪化やコロナ禍の影響を受けて、更新や再受審がかなわず、実に17年ぶりの受審となりました。昨年の当院の最も大きな行事であり、岡田監督の「アレ」と同様、患者ファーストで安全で質の高い医療を提供したい、安心して優しい医療を提供したいという、全職員 ONE TEAMの思いが大きな力となって前に進むことができたのではないかと感じています。

地域から求められる医療、国立病院機構がこれまで担ってきたセーフティネット系医療（結核、重症心身障害、神経・筋難病）を維持し、「患者様に寄り添い支える」病院として地域の皆様や患者様から信頼と満足をいただけるよう引き続き取組んでまいりますので、本年もご指導ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



第77回 国立病院総合医学学会に参加しました

2階西病棟 療養介助専門員 入江 麻記子

私達療養介助職員は福祉資格を有しており、病棟では看護師と共に長期療養患者さんの日常生活のサポートを行っています。

今回私は、広島県で開催された第77回 国立病院総合医学学会に参加し、「神経・筋疾患 患者へのシャボンラッピングの取り組み」というテーマで、関節の変形や拘縮のある患者さん、急な不随意運動がある患者さんにも安全で心地よくスキンケアが出来るように工夫したことやシャボンラッピングの効果などについて、ポスター発表を行いました。



今回の学会は4年ぶりの通常開催で、オンラインではなく実際に対面しながら発表を聞くことやポスター等を見て質問することができました。この学会を通して、医療や介護の動向について情報が得ることができ、とても有意義な時間になりました。療養介助専門員として学会に参加し病棟での取り組みについて発表したことは、看護師と療養介助職員が日々協働している事を知ってもらえる良い機会でもありましたし、モチベーションの向上にもなりました。会場では療養介護サービスでの行事の取り組み事例や爪のケアについて、改良型ナースコールの使用例など、当病棟でも参考にできそうな発表がいくつかありました。その中でも爪のケアについては今回発表させていただいた内容に合わせて行えるものでもあり、早速取り組んでみたいと思いました。今回の学会参加で得た情報や体験を活かし、今後も病棟スタッフ一丸となってより良いケアを行っていききたいと思います。



令和5年度 岡山県結核診療連携拠点病院研修会開催

院長 谷本 安
アレルギー内科・呼吸器内科医師 河田 典子

令和5年度 岡山県結核診療連携拠点病院研修会を、令和5年12月14日(木)18:30から2時間にわたり、当院担当にて岡山県医師会館(三木記念ホール)で開催いたしました。

新型コロナウイルスのため、令和2年度より当研修会はWeb開催となっていました。今年度は5月に新型コロナウイルス感染症が5類移行となったこともあり4年ぶりに現地開催を行うことができました。コロナ禍以前ほどの盛況ではありませんでしたが、足元の悪い中、全体で89人の医療関係者、行政機関の方々にご参加いただきました。厚く御礼申し上げます。

今年度のテーマである「～低蔓延時代の結核感染対策をどう進めていくか～」について、岡山県から接触者健診に関する詳細な情報提供をいただき、また公益財団法人結核予防会結核研究所所長 加藤誠也先生より、結核患者の現状動向や検査体制・新薬研究開発を日本国内だけでなく世界の趨勢を踏まえてお話いただき、低蔓延時代を迎えた結核対策のさらなる取り組みについて幅広い観点から講演していただきました。



今回は久々の現地開催対面形式で臨場感あふれる有意義な研修会となり、今後の医療活動に向けて弾みをつけるものとなりました。最後に、来年度研修会担当である岡山県健康づくり財団附属病院 西井研治院長より、結核の早期発見・治療完遂が結核根絶への道であることが強調され、あらためて結核感染対策への理解を深めた研修会であったと思います。引き続き結核対策に関しての研修ならびに情報発信を行っていく所存ですので今後ともよろしく申し上げます。





つくし園開園20周年記念行事

つくし園 保育士 難波 貴志

南岡山医療センターでは、在宅で過ごされている重症心身障害児者の皆さんの支援として通所事業を展開しています。その通所事業「つくし園」が今年で開所20周年を迎え、この度病院を挙げて盛大にお祝いしようと記念式典及び記念行事を執り行いました。その様子をご紹介します。

平成15年10月に開所してから20年が経ち、定員は当時の3倍の15名、計60名近い利用者さんにご利用いただいています。たくさんの方々に支えられたつくし園のアニバーサリーイヤー。これは頑張らないと！と職員全員で一念発起。イベント内容の職員案で出てきた中で最も推されたものが「芸能人を呼びたい！」というもの。様々な交渉の後、今回は吉本興業の方に引き受けて頂けることになりました！さらに20年を振り返る「思い出の写真展」が決まり、元職員の方への声掛け、キッチンカーの招待、利用者さんや家族の方へのご飯の手配などなど…いろいろな案が出てはそれを実行し、ついに当日を迎えることとなったのでした。

当日の10月18日は晴天に恵まれ、今年の気象状況を象徴するかのようにまだまだ暑い1日の始まりでした。まずは記念式典が始まり、谷本院長の式辞ののち早島副町長山本様から祝辞を頂きました。

式典の後、お笑いステージショーとして、吉本興業より江西あきよし様、梶剛様、ハロー植田様の3名の方がトークショーや歌、じゃんけん大会などを振る舞って下さいました。約1時間のステージでしたが、軽快なトークと、会場全体を巻き込むステージ構成が受け、会場の大会議室は大爆笑！じゃんけん大会では、最後まで勝ち残った方にサイン色紙がプレゼントされました。つくし園にもサインを書いて頂き、現在は園の玄関口に飾っています。吉本興業の皆さん、ありがとうございました！



お笑いステージの後はお昼ご飯！ご家族の方々はそれぞれお弁当を手に花明りホールへ。そこで栄養管理室より利用者さんのご飯も振る舞われ「こういう形で食べてるんだね」「こんなにきれいにソフト食ができるなんてすごい！」と、お食事を楽しまれていました。その時間にはつくし園の前でキッチンカー「PAFFULE405」さんが営業を開始。カラフルなジュースとアイスを提供して下さいました。PAFFULE405さん、ありがとうございました！



お昼ごろにはつくし園にて「思い出の写真展」と「物販コーナー」がスタートしました。写真展はゆったりとしたスペースにおよそ400枚展示。当時を懐かしむ声が多く聞

かれ楽しまれていました。物販コーナーは、早々に菓子類が完売！お子さんに使えるもの、バックや小物類のアクセントになりそうなものなどを中心に、皆さん物販を楽しまれていました。物販を運営して下さいました「めやす箱」の方々ありがとうございました！

13:00頃からは大会議室では午後のイベントが始まり、「縁日」「エントリー大会」「記念撮影」「記念品制作」と4つのブースに分かれ、自由に遊んでいただきました。中には景品のあるコーナーもあり、皆さん白熱したバトルを繰り広げられていました。記念品制作コーナーでは、20周年を記したバックを作って頂き、一人一人違うデザインのバックができました。



つくし園だけでなく、来賓の方々、依頼に応じて下さった多くの方々、院内の関係部署の力によって、20周年記念行事は盛況のうちに終わることができました。利用者、ご家族の皆さんに楽しんでもいただき、とても良かったです！

つくし園はこれからも楽しい療育、行事の提供を目指して走り続けます！次は30周年を皆で祝いましょう！



つくし病棟 院外行事

療育指導室 保育士 仁田 礼香

2023年11月につくし病棟の院外行事を約3年半ぶりに再開しました。

久しぶりの院外行事につくし1病棟9名、つくし2病棟9名、合計18名の方が福祉タクシーに乗り、7回に分かれて出掛けました。

当日は概ね天候に恵まれ、倉敷スポーツ公園やRSKバラ園へ出掛けました。外出着へ着替える嬉しさと福祉タクシーに乗ったり、ご家族に会える喜びで、みんなの笑顔が溢れていました。

車内では窓から見える景色に釘付けになり、声を掛けるとほほ笑みとともに楽しそうな声が聞かれ、ワクワクとドキドキが伝わってくるようでした。

現地でご家族と会えた時、嬉しそうな声とともに笑顔が見られ、ご家族の表情も優しく、差し伸ばされた手により温かい対面の場となり、みんなのテンションは最高潮に♥

倉敷スポーツ公園では色づいたイチョウや紅葉の木々を見ながらゆっくりと歩き、どんぐりを見つけて秋を身近に感じたり、「まっかな秋」や「もみじ」の歌を歌い、楽しいひとときが過ごせました。

RSKバラ園ではピンクや白、黄色など色鮮やかなバラに目を留め、色づいた木々を見上げながら、親子でゆったりと散策しました。

見たことがないバラや名前の知らないバラもたくさんあり、新たな発見がありました。途中の「バラクイズ」では親子で一緒に答えを考え、珍解答に笑いを誘う場面も見られました。その後、「バラが咲いた」の歌声が園内に響き、たくさんのバラに囲まれて優雅なひとときを過ごしました。

1日だけ天候に恵まれず、中庄・早島周辺のドライブに変更し、実施しました。途中で立ち寄った早島駅では、普段見ることのない電車で目を丸くして見る姿が印象的でした。

参加してくださったご家族からは『久しぶりに外に出られて、嬉しかった！』『親子でゆったりとした時間が過ごせてよかった！』などの声が聞かれ、久しぶりの院外行事参加を喜ばれ、親子で過ごす皆さんの笑顔が印象的でとても嬉しく思いました。

次年度も感染対策を行いながら、院外へ出掛けられる行事を計画し、皆さんが笑顔で楽しく過ごせるように取り組んでいきたいと思います。



南岡山医療センターの感染対策室での取り組み

感染対策室 感染対策係長 吉田 美香

当院の感染対策室は医師1名、看護師1名、薬剤師1名、臨床検査技師2名で構成されています。このメンバーで定期的に各部署（病棟、外来・中材・手術室、臨床検査室、リハビリテーション室、栄養管理室など）をラウンドし、環境が整理できているか、感染性医療廃棄物が正しく廃棄されているかなどを確認し改善を促しています。また各部署では感染対策委員が中心となり、正しい方法とタイミングで手指衛生ができていないか、手袋やエプロンの着脱がタイミングよくできているかを確認し評価しています。

その他にも全職員を対象に年に2回の感染対策研修を行い、現在の感染症の状況や正しい感染対策の方法、抗菌薬の適正使用などについても知識を深め、感染予防対策の向上に努めています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の小規模クラスターの発生がありましたが、今年度では集団感染事例はなく、職員が意識して感染対策を実践してくれている成果だと思えます。

感染対策室へは結核などの感染症、発熱や風邪症状があった場合の対応についての相談が多くあります。昨年度までは新型コロナウイルス感染症に関する相談が多かったのですが、今年度は夏ごろから増加しているインフルエンザについての問い合わせが増えています。

これからも、患者さんが安全に入院療養できるよう、また職員が健康で患者さんに良い医療が提供できるよう、感染対策室メンバーで情報共有と発信を行い、感染予防対策に努めていきます。

2023年 早島町生涯学習まつり「いきいき広場」に参加して

事務部 経営企画室長 西谷 将巳

～南岡山医療センター出店内容～

医 局：医療相談
看 護 部：子ども白衣体験
 BLS・血圧測定
 ・手洗い指導 等
薬 剤 部：お菓子で調剤体験
栄養管理室：栄養相談
臨床検査科：血圧年齢測定
放射線科：骨密度測定

11月5日(日)、早島町生涯学習まつり「いきいき広場」に参加しました。このまつりは例年行われていたのですが、コロナ渦により久しぶりの開催となり、多くの来場者が参加されました。各イベントブースでは山菜そばやちらし寿司、早島町特産品の販売があり、体験コーナーでは、い草工作、ボルダリング、電動カート乗車体験など様々な催し物が行われ、賑わいを見せていました。



測定では用意していた案内100枚が全て無くなり、骨密度測定も70人の参加があり、休む間もないほどの盛況でした。

子供の白衣体験では、子供たちが聴診器を首にかけ、真剣にAED操作や心臓マッサージを体験し、最後は笑顔で写真撮影を行いました。

回数年ぶりのイベント参加となりましたが、来場者の皆さんには健康状態や健康年齢を把握していただくとともに、普段気になっている症状を気軽に相談していただける良い機会になったと思います。また、医療センターで様々な検査や人間ドックが出来る事を広める事にも繋がりました。

これを機に他のイベント等にも積極的に参加し、健康に関する知識等についても情報提供できればと思います。



職場 紹介

治験管理室



スタッフ紹介

治験管理責任者 (臨床研究部 臨床研究部長)・・・坂井 研一

治験事務局長 (薬剤部 薬剤部長)・・・西川 正直

治験実務責任者 (治験管理室 薬剤師 治験主任)・・・田中 健治郎

事務担当 (臨床研究部 事務職員)・・・田中 玲子

日本臨床薬理学会認定 治験コーディネーター (治験管理室 臨床検査技師)・・・正渡 千鶴子

治験コーディネーター (治験管理室 看護師)・・・石尾 みどり

日ごろより治験にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

平成11年11月に臨床研究部治験管理室が設置され、平成15年10月に治験コーディネーターが正式に定員化されて以来、多くの方のご協力をいただき約40品目の薬の誕生に寄与して参りました。

臨床研究を取り巻く環境は大きな変革の時代を迎え、分散化臨床試験、研究への患者・市民参画などに対応していくことが求められており、2023年9月16日・17日に、ハイブリッド形式で開催された「第23回 CRCと臨床研究のあり方を考える会議 in岡山」に於いても、「次世代」へつなげるためにどうすべきか検討されました。

これからも多くの方に平等に治験の情報を発信し、意思決定の支援のお手伝い、医師と共に治験中のサポートをさせて頂きたいと思っています。

現在、実施中の治験は以下の通りです。

治験について詳しいことをお知りになりたい方は、治験管理室または担当診療科にお気軽にお問い合わせください。



「第23回 CRCと臨床研究のあり方を考える会議 in岡山」の会場付近の風景

対象疾患	投与方法	責任医師	募集期限
重症喘息 (好酸球性喘息)	皮下注射	木村 五郎	令和6年5月末
難治性てんかん (レノックス・ガストー症候群/ ドラベ症候群など)	内服	遠藤 文香	未定

免疫力アップ!

感染症に負けない体づくり鍋

栄養管理室 管理栄養士 群高松 朋希

皆さんは冬に食べたくなる料理と言ったら何が思い浮かぶでしょうか。

冬の料理にはおでんやグラタン、シチューなど沢山の美味しい料理がありますが、誰でも簡単に作ることが出来る料理といえばやっぱりアレですよ。そう、今回のタイトルにも出てきている「鍋料理」です。

定番のものからちょっと変わった味までたくさんの種類があり、好きな具材を入れられるため楽しんで食べることが出来る身近な料理です。

感染症に負けないよう免疫力を高めるためにこの冬おススメの3つの鍋を紹介します。ぜひご家庭でも作ってみてください。

※疾患や治療によっては特定の栄養素や食品を制限する場合があります。詳しく知りたい方は主治医又は管理栄養士にご相談ください。

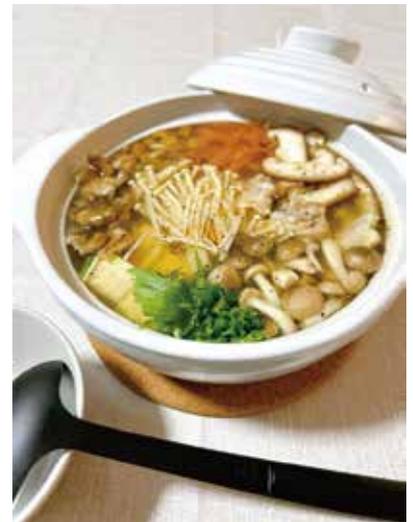
その1. <食物繊維たっぷり。きのこの^{サンラータン}酸辣湯風鍋>

食物繊維は腸内細菌のご飯となります。1日の目標量はおよそ20g以上。玄米に換算すると…、**炊いた後のご飯でなんと1.5kg分!**

酸辣湯風鍋なら、そのうちの約6gをお鍋だけでとることが出来ます。

【材料 (2人分)】

手羽先	4本 (120g)	えのきたけ	40g (1/3袋)		
A	水	800ml (4カップ)	なめこ	100g (1袋)	
	酒	50g (1/4カップ)	水菜	30g (2株)	
	ネギの青い部分	1本分	にんじん	50g	
	生姜の薄切り	3枚	絹ごし豆腐	75g (1/4丁)	
	顆粒鶏がらだし	大さじ1/2杯	B	酢	大さじ3
ぶなしめじ	40g (1/3袋)	醤油		大さじ1/2	
まいたけ	40g (1/3袋)	ごま油		小さじ1/2	
生しいたけ	2枚	黒コショウ		適量	



【作り方】

- ①手羽先を関節の部分で2つに切り、Aとともに鍋に入れて火にかける。沸騰したら灰汁をとって弱火で10分~15分程度煮る。
- ②しめじは根元をとってほぐす。しいたけは石づきをとって薄切りにする。えのきたけは半分に切ってほぐす。なめこはざるにあけて水洗いをし、ぬめりをとる。まいたけは根元を切ってほぐす。
- ③水菜はざく切りに、にんじんはピーラーでリボン状に削る。豆腐は4等分に切る。
- ④①の手羽先の先の部分、生姜、ねぎを取り出して②、③の食材を加えてさっと煮る。
- ⑤最後にBを加えて味を調える。

栄養成分 (1人分)

エネルギー 222kcal、たんぱく質 16.4g、食物繊維 6.1g、食塩相当量2.5g

その2. <適度な運動をしながらたんぱく補給！腸内環境まで整えちゃう酒粕鍋>

運動も免疫力アップには欠かせません。フレイル予防のためにもたんぱく質を取り入れながら適度な運動で免疫力を高めていきましょう。また、発酵食品には腸内環境を整えてくれる作用があります。積極的に取り入れられるといいですね。

発酵食品は加熱をすると死滅してしまうため、そのまま食べる方が良いですが、死滅しても腸内有用菌のごはんになってくれる効果があります。

【材料 (2人分)】

豚もも肉	200g (しゃぶしゃぶ用)
小松菜	90g (小サイズ、3束)
小葱	10g (3本)
まいたけ	60g
絹ごし豆腐	150g (1/2丁)
和風顆粒出汁	小さじ1
水	60ml
みそ	20g
酒粕	50g

【作り方】

- ①酒粕を室温に戻す。
- ②小松菜をざく切りにする。まいたけは根元を切ってほぐす。小葱は20cmサイズに、豆腐は食べやすい大きさに切る。
- ③鍋に顆粒出汁、水を入れて火にかけて、温まったら味噌と酒粕を溶き入れる。
- ④残りの具材を③に入れて火が通るまで煮る。



栄養成分 (1人分)

エネルギー 307kcal、たんぱく質 31.9g、食物繊維 4.7g、食塩相当量 2.2g

その3. <おいしく食べてストレス発散。筆者おすすめトマト鍋>

ストレスによって自律神経が乱れると免疫力を低下させる要因の1つとなってしまいます。おいしいものを食べて気分転換をし、心と体をリフレッシュしましょう。

ここでは僕が大好きなトマト鍋をご紹介します。食物繊維が多く、作るのが簡単で、シメのチーズリゾットは絶品ですのでぜひ作ってみてください。

【材料 (2人分)】

ウインナー	75g (5本)
冷凍剥きえび	60g (5尾)
にんじん	80g (1/2本)
しめじ	60g (1/2袋)
キャベツ	250g (1/4玉)
玉ねぎ	80g (1/2個)
ブロッコリー	50g (4個)
ミニトマト	45g (3個)
トマト鍋つゆの素 (ストレート)	150g
水	100ml (1/2カップ)

【作り方】

- ①にんじんをいちょう切り又は半月切りにする (お好みで型を抜く)。しめじは根元をとってほぐす。キャベツはざく切りに、玉ねぎはくし形に切る。
- ②①、残りの具材を鍋に入れて火にかけて、中火で火が通るまで加熱する。

<シメ>

ご飯	300g
とろけるチーズ	60g

<シメ>

- ③つゆの入った鍋にご飯、チーズを入れ、チーズが溶けるまで蓋をして弱火で加熱する。



栄養成分 (1人分、鍋のみ)

エネルギー 222kcal、たんぱく質 16.4g、食物繊維 6.1g、食塩相当量2.5g

栄養成分 (1人分、シメを含む)

エネルギー 629kcal、たんぱく質 27.2g、食物繊維 6.6g、食塩相当量 3.1g



外来診療担当医師一覧表

休診日：土・日・祝日

年末年始(12/29~1/3)

但し、急患の方はこの限りではありません。

受付時間 8:30~11:30 (予約外の方)
8:30~予約時間 (予約の方)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金	
一般内科	初診・再診	8:45~12:00	木村	藤原(努)	石賀	藤井	下西
	再診		-	-	藤原(努)	-	-
循環器内科 (生活習慣病外来)	初診(予約)・再診	8:45~12:00	富田	-	-	富田	富田
呼吸器内科	初診・再診	8:45~12:00	谷本	谷本	-	谷本	木村
			藤井	木村	-	下西	藤井
			石賀	石賀	板野	-	-
			板野	板野	-	-	-
再診	13:30~17:00	-	-	河田	河田	-	
脳神経内科	初診・再診	8:45~12:00	田邊	坂井 (もの忘れ)	麓	原口	逸見
	再診	9:30~12:30	的場	-	-	-	的場
再診	8:45~12:00	-	田邊	-	坂井	-	
消化器内科	初診・再診	8:45~12:00	-	-	平野	平野	-
皮膚科	初診・再診	8:45~12:00	藤原(倫)	藤原(倫)	藤原(倫)	藤原(倫)	藤原(倫)
	再診	第1・3月曜 15:30~16:30	藤原(倫) (受付16:15まで)	-	-	-	-
		第2・4・5月曜 15:30~17:00	藤原(倫) (受付16:30まで)	-	-	-	-
	再診(予約)	16:00~17:00	-	-	-	藤原(倫)	-
耳鼻咽喉科	初診・再診	8:45~12:00	-	-	-	-	村井/清水
整形外科	初診・再診	8:45~12:00	藤田	藤田	-	藤田	藤田 (再診予約のみ)
リハビリテーション科 (摂食嚥下専門)	初診・再診	13:00~14:00	-	谷本 (予約のみ)	-	-	-
小児科	初診・再診	8:45~12:00	遠藤	産賀	井上	吉永	水内
小児神経科	初診(予約)	8:45~12:00	吉永	吉永	-	井上	遠藤
	再診	13:30~15:30	-	吉永	遠藤 (14:00~)	吉永	-
		15:30~17:00	井上 (2・4・5週)	-	遠藤 (~16:00)	井上	遠藤
アレルギー外来	初診(内科)	10:00~11:00	-	-	谷本	-	-
	再診(皮膚科)	8:45~12:00	藤原(倫)	藤原(倫)	藤原(倫)	藤原(倫)	藤原(倫)
	初診(予約)・再診(内科)	14:00~16:00	谷本・木村	-	-	-	-
	初診(予約)(小児科)	14:30~15:30	水内	-	-	水内	-
	再診(小児科)	15:30~17:00		-	-	水内	水内
再診(皮膚科)	15:30~17:00	藤原(倫)	-	-	藤原(倫) (16:00~)	-	
喘息外来	再診	14:00~16:00	-	-	-	谷本	-
睡眠時無呼吸外来	初診	9:30~10:00	-	石賀	-	-	-
	初診・再診	11:00~12:00	-	-	-	-	谷本
禁煙外来	初診・再診	13:30~16:00	-	-	-	藤井	-
間質性肺炎外来	初診	10:00~11:00	-	-	-	-	谷本・板野
小児肥満外来	再診	8:45~12:00	水内 (~11:00)	-	-	-	水内
	初診(予約)	14:30~15:30	水内	-	-	水内	-
	再診	15:30~17:00		-	-	-	水内
歯科	初診・再診	8:45~12:00	小野	山路	-	大原	小野
	再診	13:30~17:00		-	-	-	-
乳幼児健診 予防接種	乳幼児健診	14:30~15:00	-	-	担当医	-	-
	予防接種	15:00~15:30	-	-	担当医	-	-

紹介状をお持ちの方は、事前に **病診連携室** で予約を行ってください。
(予約無しで当日に紹介状をご持参される場合、お待ちいただくことがあります)
初診(予約)を受診の方は、事前に **病診連携室** で予約を行ってください。

病診連携室

086-482-3031



独立行政法人国立病院機構 南岡山医療センター

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066
電話 (086) 482-1121 (代表)
FAX (086) 482-3883
病診連携室 FAX (086) 482-3051

休日・時間外に FAX を送られる場合は事前に
代表電話へご連絡ください。

<https://minamiokayama.hosp.go.jp/>

